

パワーリフティング関係者各位

2021年11月1日

JPA 技術委員会委員長 二宮正晴

技術委員会取り組み報告

平素は、JPA 技術委員会へのご協力、ご理解を頂きまして心より感謝申し上げます。
表題の件、下記の様の報告させていただきます。

1. 技術委員会指針

- ① 国内審判人員の拡大 ② 国内審判のレベルアップ

2. 活動実績・結果

<2020年度>

① 3級審判講習会・試験

9月27日 福岡県協会にて実施 受験10名 合格10名

新型コロナウイルス感染予防の為、3級審判講習会・試験は1回開催のみ

② 3～2級試験 受験4名 合格4名

③ 2～2級試験 受験3名 合格3名

<2021年度>

① 3級審判講習会・試験

4月11日 兵庫県協会にて実施 受験11名 合格11名

8月29日 東京都協会にて実施 受験19名 合格18名

9月 4日 JPA 主催web実施 受験30名 合格30名

新型コロナウイルス感染予防の為、3級審判講習会・試験は1回開催のみ

② 3～2級試験 受験2名 合格2名

③ 2～2級試験 受験2名 合格2名

3. 今後の取り組み

「1. 技術委員会指針」を骨子として、各ブロック単位での3級審判講習会・試験及び2級審判試験のブロック技術委員長単位での取り組みは勿論、JPA 技術委員会として次の取り組みを実施して強化体制を図って行く。

- ① 3級審判試験及び、3級審判資格付与（レポート提出による合否）・・・年間2回
- ② 全国審判員のレベル底上げ及び、全体レベル向上・・・・・・・・・・年間2回
- ③ 国際審判受験及び、国際大会審判派遣の推進・・・・・・・・・・随時

※新型コロナウイルス対策が不要になった段階より

4. 技術委員の取り組みへのご理解

私が、技術委員会委員長を拝命して、早くも3年の月日が経とうとしています。
これも、皆様のご支援・ご理解と深くお礼申し上げます。

さて今回、特に、理解頂きたいことは、技術委員会、審判のガバナンスに関する事です。
大会中、選手の試技をジャッジし、かつ、選手の順位を左右する試技判定をする立場の審判は、皆に対して平等でなくてはなりません。

特に、我々技術委員会は、審判を束ねる立場である為、選手との写真撮影拒否や、日頃とは異なる不愛想な対応になる事が御座います。

これも、選手を平等に扱い、かつ、審判品質を向上させる為の取り組みになりますので、ご理解の程、よろしくお願い致します。

以上、宜しくお願い致します。